

## 授業科目

## 車いす・シーティング実習

担当教員名 前田 雄、須田 裕紀、高橋 良明	対象学年	3	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

車いす・シーティングの製作適合に必要な基本的な技術を体得するために、対象者の姿勢の評価方法、採寸・採型方法、製作方法、適合方法についての実習を行う。

## 授業の目的

本科目を通して、車いすの種類や構造の知識を基にし、適応疾患に対するシーティングの評価、採寸、採型方法、調整方法について学ぶ。さらに、座位姿勢における評価とシーティングアプローチによる評価について学ぶ。

## 学習目標

- 1.本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。
- 2.正しい姿勢を評価することができる。
- 3.車いす・シーティングの処方及び製作に必要な情報、評価方法を実践し、カルテへの記入ができる。
- 4.採寸および採型をすることができる。
- 5.車いす・シーティングの部品の機能を理解し、適切に扱うことができる。
- 6.姿勢・座位の評価をし、ピースで採型ができる。
- 7.車いす・シーティングを適切に使用、評価とアライメントの評価が実践できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス	説明	前田 雄
2-4	健常者の基本姿勢と評価	実習	前田 雄
5-8	座位姿勢の評価・実習	実習	前田 雄
9-12	車いす・シーティングの座圧評価実習	実習	須田 裕紀
13-16	クッションによる姿勢変化と評価	実習	前田 雄
17-20	マット評価・実習	実習	高橋 良明
21-24	ピース採型・実習・評価実習	実習	高橋 良明
25-30	各部のポジショニング・まとめ	実習	須田 裕紀

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	小児から高齢者までの姿勢保持 工学的視点を臨床に活かす	編集 日本リハビリテーション工学協会、SIG姿勢保持	医学書院	2007年	4,700円+税	
	車いす・シーティングの理論と実践	監修 澤村誠志、伊藤利之、編集 日本車椅子シーティング協会	はる書房	2014年	6,804円	
参考書	車いす・シーティング -その理論と実践-	編集 車いすシーティング協会	はる書房			
	からだにやさしい車いす 車椅子のすすめ 車椅子ハンドブック	著 Bengt Engstron		1997年		
その他の資料						

## 評価方法

実習レポート80%、態度20%とする。

## 履修上の留意点

本科目「車いす・シーティング（実習）」は「車いす・シーティング（講義）」とあわせて行われるため、両科目の相互理解が重要である。原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。

## オフィスアワー・連絡先

連絡先  
yu-maeda@nuhw.ac.jp  
suda@nuhw.ac.jp